

令和5年 第53回NHK杯アイスホッケー大会
監督会議（書面通知）高校の部

1) 競技日程及び競技方法の確認

競技日程 : 別紙対戦表をご参照下さい。

競技規定 : IHF国際競技規則による。ただし、コーチチャレンジに関する規則を除く。

: ゴールテンダーの制限エリアの【採用】

① 競技方法 4チームによる1回総当たりのリーグ戦

競技時間は、各ピリオド正味20分とし、ピリオド間、整氷を行う。

練習(10分)→整氷(10分)→1P(20分)→休憩(10分)→2P(20分)→休憩(10分)

→3P(20分)

② ランニングタイムの適用

◎ 10点差以上の得点差がついた時点で次のフェイスオフ後のゲームタイムはランニングとする。

◎ 点差が縮まった場合でも継続する。

◎ 次の場合は時計を止めるものとする。

ア. 得点した場合、時計を止める。

レフェリーがゴール・アシストを報告した時点でスタート。

イ. ペナルティーが発生した場合、時計を止める。

背番号とペナルティー時間を表示する。

フェイスオフでパックがドロップされたらスタート。

ウ. 選手が負傷し、交代に時間を要する場合や、チームからの質問などで時間を要する場合など、レフェリーの指示で時計を止める。

次のフェイスオフでスタートさせる。

◎ 反則時間終了時にプレーが止まっていたら、その選手は次のフェイスオフで

パックがドロップされるまでペナルティベンチから出られない。

③ 第3ピリオド終了時同点の場合は、3分間の休憩後に3on3方式による5分間のサドンデスの延長戦を行う。

尚、決しない時は、IHF規定によるPSS(5名)で勝敗を決定する。

5名で勝敗が決しない時は、最初の5名を含め、6人目からはサドンデス方式で勝敗を決定する。

④ タイムアウトを認める。

⑤ オールメンバー表の提出

オールメンバー表の提出は、試合開始30分前までにオフィシャルボックスに提出して下さい。

⑥ 試合前の練習

練習は10分間とし、練習終了後整氷を行い、試合開始とする。

⑦ 選手ベンチ

ベンチは、対戦表の左側のチームがオフィシャルボックスから見て左側のベンチを使用して下さい。

2) <順位決定方法>

① 勝ち点方式

② 2チームが同じ勝ち点の時は、当該対戦の勝者

③ 3チーム以上が同じ勝ち点の時は、

イ. 当該チーム間の得失点差

ロ. 当該チーム間の総得点

ハ. 当該チームに上位1チームを加えた、得失点差、総得点により決定する

3) 開会式: 10月16日(月) 17時30分～氷上にて

① 決勝戦の2チームは、5名の選手がユニホームを着用して整列して下さい。

4) 閉会式: 11月5日(日)

① 高校の決勝戦終了後、直ちに氷上で行います。